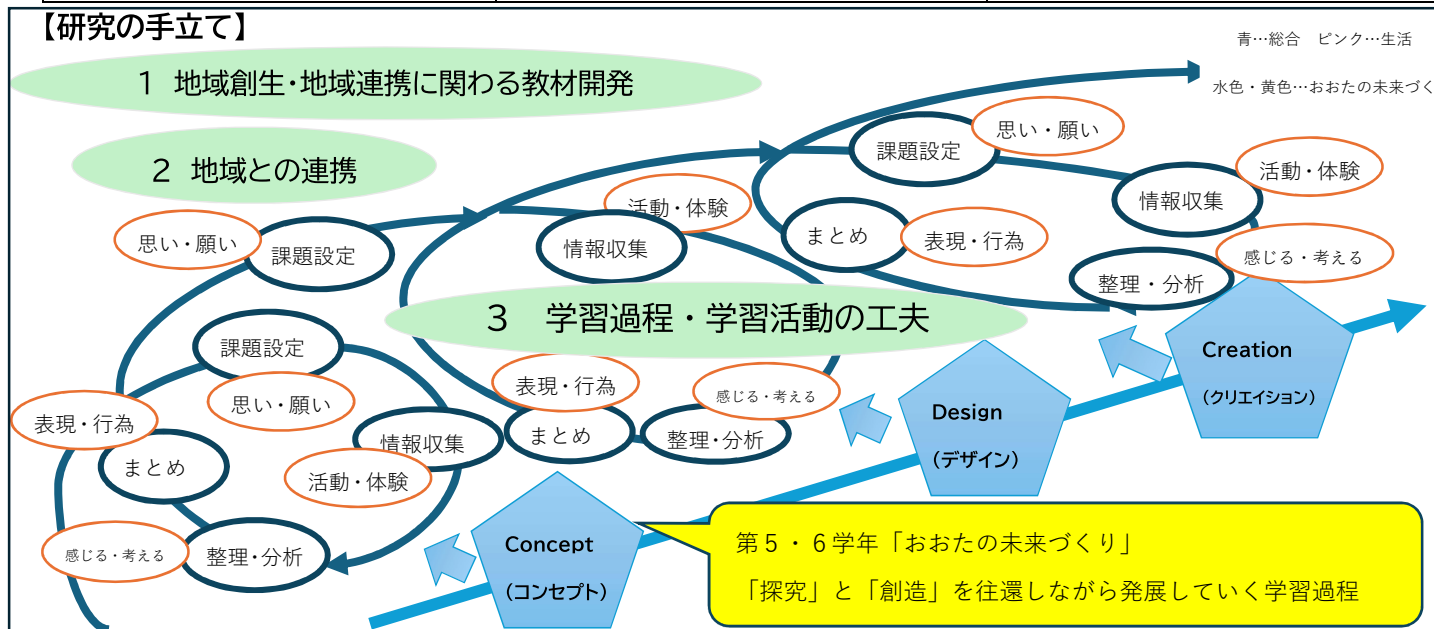


【研究教科及び目指す児童像、単元名】 *今年度は、新教科「おおたの未来づくり」の地域創生に関わる教材開発を中心に行った。

低学年 「生活科」	中学年 「総合的な学習の時間」	高学年 新教科「おおたの未来づくり」	若竹学級「生活科単元」
・地域との関わりを楽しむ児童 ・地域との関わりから自分の世界を広げ、自分の生活に活かす児童	・ICTを活用して様々な情報を得て、必要なものを取捨選択し、活用しようとする児童 ・問題の解決に向かって協働しながら、主体的に取り組もうとする児童	・自他の良さを生かしながら、協力して問題の解決に向けた探究に取り組もうとする児童 ・探究的な活動を通して、進んで実社会・実生活の問題の解決に取り組もうとする児童	・みんながよりよく生きていくための力を身に付けようとする児童
1年 「あきとなかよし」(地域の幼稚園・保育園との交流) 2年 「もっと知りたいたんけんたい」	3年 「地域安全マップをつくろう」 4年 「共に生きる～全ての人々がくらしやすい町をめざして～」	5年 「馬込文士の魅力を広げよう」 6年 「伝えよう！わがまち馬込！」 *両学年とも、今年度は、B：地域創生	「ふわふわ若竹学級会社の社章をつくろう」

【研究の手立て】



①各教科で育成される見方・考え方や資質・能力 ②創造的な資質・能力の素地

言語能力

情報活用能力

問題発見・問題解決能力

【研究の成果】

○基礎研究を通して、新教科「おおたの未来づくり」の授業づくりについて理解し、それを支える第1学年から第4学年の「創造的な資質・能力の素地」をどのように育成するのかについて系統的に整理することができた。

○馬二小の学区の魅力を見出し、どの分科会も、馬二小の学区にある地域素材を上手く生かし、地域創生・地域連携に関わる教材開発及び連携する機関やお店等との関係づくりを行うことができた。

【来年度に向けて】

○教材開発をした単元について、さらに時間や内容の精選、及び内容の充実を図る。

○新教科「おおたの未来づくり」の「Aものづくり」の教材開発及び授業実践